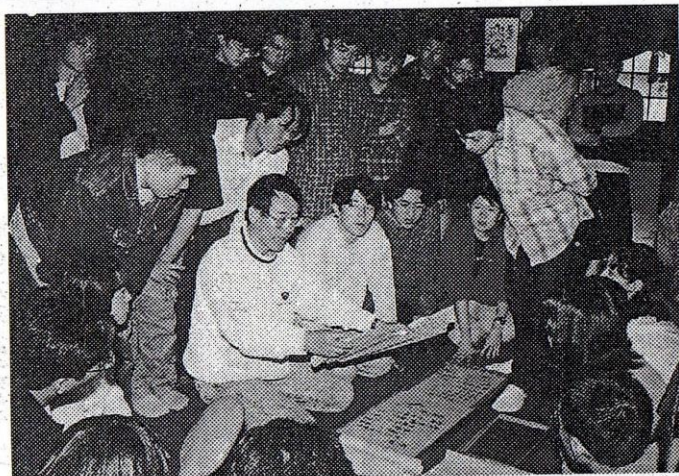


# 寺の古文書読み解く

## 吉井 仁叟寺 早大生42人が調査研修

吉井町神保の曹洞宗、仁叟寺(渡辺隆司住職)に九日、早稲田大学教育学部の学生四十二人が訪れ、同寺に伝わる古



文書の調査や研修を行った。同寺は室町時代の一五二二年に開山。以来、戦禍や火災に遭わず開山当時の本堂が残

っており、明治時代に県内の寺では、尾島町の長楽寺とともに古社寺保存指定を受けている。

同大の研修は中世史専門の外園豊基教授が学生を引率。同寺を開

吉井の仁叟寺で古文書を調べる大學生

いた直翁齋正(じきおう・えいしょう)が明応六年(一四

九七年)に弟子にあてて書いた文書、太永二年(一五二二年)の日付のある「禁制」文書などを研究材料に読解した。外園教授は「寺には古文書類が多く、なにか新しい発見があるのではないかと期待している」と話していた。

### 寺の古文書読み解く

吉井仁叟寺 早大生42人が調査研修